

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
ホープフルステークス	別定	GII	中山	芝2000m	良想定	平坦	中荒れ	D

※文字色の意味 2020/12/26

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆値
1	オーソクレス	ルメール	エビファネイア	ロベルト	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	A B	B B	C C	C C	B	B	2	○		2
2	ヨーホーレイク	武豊	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	フレンチデピュティ	ヴァイスリージェント	C C	C C	C C	B B	C	C	4	△4		4
3	ランドオブリパティ	三浦	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Dubawi	ミスターオブクワ	C B	B B	B C	C B	B	B	3	▲		3
4	ヴィゴレ	横山武	キズナ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	C C	C D	D C	C B	C	D	12	消		12
5	テンカハル	坂井	キングカメハメハ	キングマンボ	Awesome Again	ヴァイスリージェント	C D	C C	C C	D D	D	D	11	消		11
6	ホールシバン	丸山	パイロ	エービーインディ	Hard Spun	ダンジグ	E E	E E	C C	E E	E	E	14	消		14
7	マカオンドール	岩田康	ゴールドシップ	サンデーサイレンス	Darshaan	ミルリフ	A A	A B	B C	A A	A	A	9	◎		9
8	パニングポイント	Mデムーロ	Tapit	エービーインディ	Unbridled s Song	ミスターオブクワ	D D	D D	D C	C D	D	D	10	消		10
9	アオイショー	石橋脩	ロードカナロア	キングマンボ	シンボリクリスエス	ロベルト	B B	B C	C C	D B	C	C	8	△5		8
10	ダノンザキッド	川田	ジャスタウェイ	サンデーサイレンス	Dansili	デインヒル	C C	C A	C C	C B	B	B	1	△1		1
11	タイトルホルダー	戸崎	ドゥラメンテ	キングマンボ	Motivator	サドラーズウエルズ	B A	C C	C C	B B	B	B	7	☆		7
12	アドマイザザゲ	吉田隼	ドゥラメンテ	キングマンボ	Cape Cross	ダンジグ	C C	C C	C C	C C	C	C	5	△3		5
13	シュヴァリエローズ	北村友	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Sevres Rose	ニジンスキー	C C	C B	C C	C C	C	C	6	△2		6
14	モリデンアロー	山田	エスポワールシチー	サンデーサイレンス	シャーディー	ダンジグ	E E	E E	E C	E E	E	E	15	消		15
15	セイハロートウユー	木幡巧	キングカメハメハ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	B E	E E	C C	D D	E	E	13	消		13

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW

中山芝2000mは2歳の若駒にとっては非常にタフな条件。過去のホープフルステークスや京成杯のレース結果を見ても、前に行った馬が最後にパテてしまって差し追い込みが決まるケースが非常に多かった。この条件はスタミナがあって差してこれる馬が有利な傾向が続いていた。

それがGIに格上げになったことによりメンバーレベルが上がって以前ほどは差し有利なレースではなくなっている感じ。ここ2年を見てもペースが遅かったというのはあってもロスなく立ち回った馬が上位を独占。ただ、よくよく見てみればスピードを活かして先行した馬ではなく、位置をとって脚を溜めた馬が最後に差してきている感じ。今年出走メンバーを見てもそこまで速いペースにはならなそう、以前ほどズバズバと差し追い込みが決まるとは思えないが、ロスなくインを突くような競馬ができれば十分に差し馬でも台頭できると考えます。

本命はいかに条件合いそうな◎マカオンドールの穴一撃に期待したい。デビューからのレース内容を見ても、道悪馬場こそさっぱりダメだが、それ以外のレースではスタミナを押し出して強い競馬。特に強かったのが未勝利勝ちの内容で、この馬はスタミナが問われる条件なら普通に強そう。前走も穴で評価していたが、直線入り口で前が詰まり不利がなければ勝ち負けだったはず。この舞台得意なステゴ系でインを突くだろう岩田なら一発あって良いはず。

REVIEW

血統

2歳馬にとっては本質的に長い距離、冬のタフな馬場、2回も急坂を越える中山コース、とこれだけを見て明らかにスタミナが問われる条件。もう過去の血統傾向を見てもスタミナ色の強い欧州血統がズバリ、ステイゴールドとロベルトがよく走っている。

適性

かなり過酷な条件なので、少しでもペースが上がると上がりがかかり放題で差し追い込みがズバズバ決まる。とにかくタフ馬場適性やスタミナがある馬を。

データ

GI昇格からまだ4年しか経っていないので全馬G評価とします。

ペース

明確な逃げ馬が不在。ゲスト扱いのダート馬が先手を奪う展開になるか。ペースは正直読みにくい、そこまで速いペースにはならないだろう。

危険な馬

ヨーホーレイク=デビューから2戦ともに馬場が悪かったとはいえず大して強くない相手に連勝。前走で倒したグラティトゥーは次走の京都2歳Sで惨敗しましたし、そこの比較で考えても大して強くなさそう。このクロウキャニオンの血統はデビュー直後こそ勝ち上がるが、その後は評判倒れに終わる馬ばかり。

妙味大な馬

タイトルホルダー-前走は展開に恵まれた部分はあったが、東京コースを克服して2着に走ってきた点は評価。父が単月賞馬ドゥラメンテで母父サドラーズウエルズ、半姉が超スタミナ馬のメロディーレンというのを見ても中山替わりはプラス。前に行けるので展開的に向く可能性もあります。

穴馬

マカオンドール=デビューからのレース内容を見ても、道悪馬場こそさっぱりダメだが、それ以外のレースではスタミナを押し出して強い競馬。特に強かったのが未勝利勝ちの内容で、この馬はスタミナが問われる条件なら普通に強そう。前走も穴で評価していたが、直線入り口で前が詰まり不利がなければ勝ち負けだった。

タイム	上3F	下3F

ラップタイム

--

Copyright (C) 2014 - KAZ

AllRightsReserved.

本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

